

# 農業生産環境保全学プログラムの 教育における3つのポリシー

# 1, ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- ・ 21世紀の農学に関する諸問題を解決し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献するために、農業生産環境保全学の高度な知識・技術を修得
- ・ 従来の専門領域を超える柔軟な発想と実践で培った課題解決能力で未来を拓く、省力・安定・安全な農業生産技術の開発に挑戦できる能力を修得
- ・ 近年進歩著しいバイオテクノロジー、機器・化学分析、ICT、IoTなどの技術を活用して省力・高品質生産を実現する新たな農業に関する知識と技術を修得
- ・ 農業生産環境保全学に関する多様な場面で実践できる高度なコミュニケーション能力を修得

## 2, カリキュラム・ポリシー（学修・教育目標を達成するための教育体系）

- ・ 農業生産環境保全学に関する高度な専門知識を身に付けるための科目を配置
- ・ 最新のバイオテクノロジー、機器・化学分析、ICT、IoTなどの技術を駆使した農林業技術を学ぶ「スマート農林業」、農林業生産が抱える諸問題を解決する実践力を養うために「政策課題演習」を境界・学際領域科目として配置
- ・ 農業生産環境保全学の創造的実践に必要な知識・技術を身に付けるための科目を配置

# 3, アドミッション・ポリシー（入学者 受入れの方針）

- ・ 農業生産環境保全学を学修するために必要な生物資源科学、農業環境工学などに関する基礎学力を有する人
- ・ 農業生産が抱える諸問題の解決に強い関心と熱意を持ち、最新のテクノロジーを農林生産の場に活用しようという意欲を持つ人
- ・ 農業生産環境保全学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人